

令和4年度 市高連『軽スポーツフェスティバル』奮戦記

(学区高連 総務部：上島)

この行事は令和元年10月29日に池の川さくらアリーナで開催されてから、新型コロナウイルス禍によって開催中止が続きましたが、今回3年ぶりとなる11月1日に実施されました。

今回は市内の学区代表チームによる「輪投げ」のチャンピオン争奪と、これまでの「ダーツ競技」のチャンピオン争奪に代わる、3種目の「ニュースポーツ体験ゲーム」(ユニカール・ラダーゲッタ・シャフルボード)が実施されました。

チャンピオン争奪戦の「輪投げ」競技には、学区代表21チーム、「ニュースポーツ体験」には47単会から、約80名の代表者が参加しました。

輪投げのチャンピオン争奪戦では、3年前の平成元年度に、大海会チームが、優勝・準優勝の上位成績を挙げていますが、今回も、僅差ながらも決勝トーナメントに2チーム揃って進出し、Bチームが67点、Aチームが61点の得点で、2度目の上位の成績を収めました。

予選2ゲームの合計得点は、トップチームが144点で、Bチームが123点、大海会Aチームは117点、の、3番・4番目の得点でした。

試合は時の運もあるから、練習どうり頑張ろうとの各自の気概から、上位連覇の戦績が生まれたものと思われます。



輪投げ上位独占の大海会 A・Bチーム



ユニカール



ラダーゲッタ
ニュースポーツ体験の3種目



シャフルボード